

老朽化モルタル のり面補修学ぶ

東海のリフレッシュ
工法協会技術講習会

東海のリフレッシュ工
法協会（奥島庄司会長）
は3日、16年度の「老朽
化モルタルのり面補修工



イス空間の創出—の3
点。

履行期間は18年2月28
日まで。本年度は本庁舎、
北庁舎、総合福祉会館の
現状調査を実施。17年度
は新庁舎備品類の整備計
画（仕様書作成、概算予
算算出）、レイアウト計
画策定、サイン作成支援
を行う。資料の提出、問
い合わせ先は企画総務部
管財課庁舎等建設係。

法」技術講習会を名古屋
市中村区の愛知県産業労
働センター（ウインクあ
いち）で開いた。写真。

官庁や建設コンサルタ
ント、建設会社の担当者
ら約150人が出席。老
朽化した既設モルタルの
り面の補修技術である
「のリフレッシュ工法」
について理解を深めた。

冒頭、奥島会長は「工
期とコストを大幅に短縮
し、環境にも優しい」の
リフレッシュ工法」の特
徴をこの講習会を通じて
多くの方に理解してもら
い、工法選定時の選択肢
の一つにぜひ検討してい
ただきたい」と、あいさ
つした。

続いてライト工業の庭

田和之施工技術本部副本
部長が「のり面構造物の
維持管理の現状」、同協
会の坂登技術委員が「熱
赤外線調査他調査による
吹き付けのり面老朽化診
断」をテーマにそれぞれ
最新のデータを報告。同
協会の黒柳啓技術委員が
「のリフレッシュ工法」
の開発経緯や施工方法な
どを解説した。

最後に八嶋厚岐皇大学
教授が「のり面を見て聞
いて（耳順の年を迎えて
思うこと）」をテーマに
講演。劣化したのり面の
点検・診断を行う技術者
に求められる資質などを
説いた。

以程度の複合用途建物の
建て替えを想定し、基本
計画を作成、概算工事費

を算出する。履行期限は
17年3月31日。

中部整備局

鋼上部工2件公告

東海環状長深1高架橋など

中部地方整備局は4
日、東海環状長深1高架

事場所⑤工事内容⑥工期
⑧他。

橋鋼上部工事と同大野神
戸IC・Bランプ鋼上部
工事の一般競争入札を公
告する。一括審査方式の

▽東海環状長深1高架
橋鋼上部工事Ⅱ8月4日
①8月19日②9月26日③
鋼上部工事④三重県東員

価格は14億0884万8000円。工期は18年7月31日。

「同(岡田新浜工区・その3)」は9億3900万円。深松組・高野建設が落札した。予定価格は10億6627万3000円。工期は18年9月28日。

「同(岡田新浜工区・その4)」は4億5000万円。伸和興業・赤坂建設が落札した。予定価格は4億8295万9000円。工期は18年3月30日。

事内容は鋼4径間連続非合成桁橋橋長261m、幅員12m。工場製作・輸送・架設約1160ト、橋梁付属物工。使用する主な資材は鋼材約1160ト。工期は17年11月27日。

水源地環境センター」に

鳴子ダム管理資料整理検討

東北地方整備局は「鳴子ダム管理資料整理検討業務」の簡易公募型競争入札を行った結果、1340万円。水源地環境センター・八千代エンジニヤリング」に決めた。総合評価方式を採用した。

業務では鳴子ダムの防災操作、利水補給の実績、堆砂状況調査、水質調査、生物調査および水源地域動態調査のデータ整理を

のり面維持管理技術の高度化へ

東北・のりフレッシュ工法協会が講習会

東北・のりフレッシュ工法協会(川村公平会長)は24日、老朽化したモルタルのり面の補修技術である「のりフレッシュ工法」の技術講習会を仙台市青葉区のフォレスト仙台で開いた。写真。のり面工事関連企業、建設コンサルタント、発注機関などから約160人が参加した。

冒頭あいさつした川村会長は「東北地方ではまだ2万平方メートル程度の実績だが、のりフレッシュ工法はこれからののり面維持管理に役立つ技術の一つになると確信している」と述べた。



講習会では、同工法の技術概要と施工事例につ

行い、その結果について分析・評価を行う。

合わせて、ダム貯水池調査要領に基づく水質調査計画を作成する。履行期限は17年3月10日。

いて同協会の大淵義行技術委員が解説した。大淵氏は、モルタル吹き付け方式ののり面工事は1950年代から始まったが、全国的な老朽化対策事業は行われておらず、対症療法的な補修工事にとどまっていることを指摘。その上で、繊維混入型の補修モルタルを充てんすることで、破損したのり面を撤去する必要がなく、コストと工期を縮減できるのりフレッシュ工法の利点と施工例を紹介した。

日本アンカー協会の別府正顕技術委員がのり面構造物の維持管理の現状について講演。のり面構造物やアンカーボルトの劣化の進行状況や、災害などでの破壊の程度を事例を基に解説するとともに、点検技術や新型の施工機材などを紹介した。土木研究所の加藤俊二主任研究員が「吹き付けのり面のアセットマネジメントに関する検討」、東北学院大学工学部の飛田善雄教授が「のり面設計施工における不確実性のもとでの意思決定とその危うさ」をテーマにそれぞれ講演した。

る。

参加資格は同局「維持修繕工事」の認定企業。01年度以降に道路維持修繕や路面清掃などを手がけた実績があることなど。